

平成27年度青少年アンビシャス運動支援の会助成事業(前期採択事業)一覧

(長期継続活動支援事業)

申請 番号	申請団体名	活 動 名	活 動 内 容	青少年参加対象者
	住 所	活 動 期 間		見込人数
1	宇美スポーツ少年団	宇美スポーツ少年団 リーダー育成事業	<p>地域スポーツ活動の受け皿となっている当スポーツ少年団では、なんとか現状維持を保っている状態であり、団員を引っ張っていく青少年リーダーの育成が喫緊の課題と捉えられている。</p> <p>このため当少年団では、まずリーダー育成プログラムを構築し、「リーダー会」を立ち上げ、その参加者に「公認ジュニアリーダー資格」などの取得や国内外の団体との交流などを数多く体験させることにより、3カ年計画で将来の指導者の育成を図っていく。ひいては参加した各団のその後の発展に繋げていこうとするもの。</p> <p>(18年度、19年度に助成歴あり)</p>	11歳～19歳の、 将来のリーダーを 目指す青少年
	糟屋郡宇美町	平成27年度～平成29年度 (平成27年4月～28年3月)		延べ300名
2	羽根木東区寺子屋 (家庭塾)	寺子屋文庫読書活動 —おうちの方と一緒に、 「ぬくもり」を子どもに届けたい—	<p>地域の子どもたちに呼び掛け、月2回「楽しく遊び楽しく学ぶ」をモットーに読み聞かせなどの読書活動を13年間実施されてきたもの。大報告会や発表会も実施、これまで67名の子どもたちが“のびのび・すくすく巣立っている”とのこと。</p> <p>なお、既に3回の助成歴があるが、今回は長期的視点に立った親子での読書会やマス計算広場などを取り入れ、活動の充実を図っている。</p> <p>(21年度、22年度、23年度に助成歴あり)</p>	5歳～12歳
	行橋市	平成27年度～平成29年度 (平成27年4月～28年3月)		40～50名
3	言葉の森後援会	聞こえない・聞こえにくい子ども たちの育ちを地域で支えよう	<p>1人で過ごすことが多い聴覚障害児の健やかな発達を促すために、「放課後子どもクラブ」を設け集団で触れ合える場を構築していく。また、聴覚特別支援学校に通う子どもたちとの交流の場を設けることにより、障害認識を深め将来への展望を持てるようにする。</p> <p>これらの支援活動を、保護者への学習会も含めて企画し、3年を目途に達成していこうとするもの。</p>	3歳～ 歳 (聴覚障害児・者)
	久留米市	平成27年度～平成29年度 (平成27年4月～28年3月)		延べ400名

4	子どもまちづくりリストスクール 『エウレカ』実行委員会	子どもまちづくりリストスクール 『エウレカ』	<p>新しい街「アイランドシティ照葉」で昨年発足した団体。 将来のまちづくりを担う子どもたちとともに、自分の住む「まち」をテーマに様々な創作活動を行い、自ら考え、挑戦し、まちづくりを直接体験させる活動。 最終的に、「まちの中の子どもの居場所づくり」と「10年後の自立的な大人を育てる」ことを目的としているもの。 昨年から今年度に掛けては、より充実した活動を通して認知度を高めて行き、次年度以降は運営体制の強化、情報発信の充実、及び中学生が参加できるプログラムの開発などを行い、3年後には地域の活動拠点を構え、子どもたちの居場所へと繋げていきたいとのこと。 (26年度に追加助成分)</p>	小学1年～6年生
	福岡市東区	平成27年度～平成29年度 (平成27年4月～28年3月)		30名
5	子どもに能楽を勧める会	「北九州市芸術祭・能楽大会」、 「福岡宝友会」と 「子どもと留学生の能楽発表会」	<p>「北九州市芸術祭・能楽大会」や「福岡宝友会」、及び「子どもと留学生の能楽発表会」の舞台に立つため、子どもたちと留学生がともに稽古を積み、お互いの交流や他地域の子どもの交流を行う。 これらを通して、子どもたちの伝統文化への理解や、礼儀作法、集中力、向上心を高めるなど、健全な育成に繋げようとするもの。 (26年度に追加助成分)</p>	4歳～17歳
	北九州市八幡西区	平成27年度～平成29年度 (平成27年4月～27年11月)		<small>「能楽教室」</small> 15名 <small>(能楽出前教室)</small> 30～50名
6	小郡市古賀区 こども囲碁教室	福岡県南部こども囲碁大会 並びに親子入門教室	<p>県南のこどもたちが一堂に会し、囲碁を通じた友好を深め、地域における年代を超えた交流を重ねることにより豊かな心や大いなる志を持った青少年を育成していこうとするもの。 これまで既に3回の助成歴があり、囲碁大会を主催したり各地の大会に参加されているが、27年度からは、県南地域の囲碁教室と連携し、組織的でより大規模な取り組みにシフトして行こうというもの。そこで当教室が推進役となり、囲碁を核に据えた長期的視点に立った青少年育成事業の定着を実現し、県南から県全域への囲碁青少年の拡大に寄与しようとするもの。 (21年度、22年度、23年度に助成歴あり)</p>	5歳～15歳 (中学生まで)
	小郡市	平成27年度～平成29年度 (平成27年4月～28年3月)		80名

平成27年度青少年アンビシャス運動支援の会助成事業(前期採択事業)一覧

(短期活動支援事業)

申請 番号	申請団体名	活動名	活動内容	青少年参加対象者
	住所	活動期間		見込人数
1	アンビネット小郡市 地域連携協議会	LET'S GO アンビフェスタ	小郡市内のアンビシャス広場や参加団体を中心となって、こどもたちの居場所づくりを推進。その集大成として参加型の合同フェスタを開催するもの。 これにより、各広場・団体の連携・交流を深め、青少年の活動の場を拡げ意識の向上を目指さそうとするもの。 5回目となり、市民にも認知されてきたとのこと。 (24年度、25年度に助成歴あり)	0歳～20歳の、乳幼児から大学生まで
	小郡市	平成27年4月～平成28年3月		約1000名
2	Twinkie/Cats トウインクル・キャッツ	第12回 心のバリアフリー 「愛いっぱいコンサート」	小学生から成人までの障がい児・者が、楽器演奏や音楽劇を実演・参加することで、貴重な経験を積み、それぞれの自立に向け、自信持ち充実した生活が送れるようにすることを目的として、毎年活動をされているもの。 これまでの開催では、障がいのあるメンバーがステージで輝いている姿が、多くの観客から「感動の声」をいただく公演に育っている。 今回は、初めての試みとして、門司の「マリンバフォルテ」の子どもたちとの交流(一泊研修)を行うとのことで、活動の幅も拡大してきている。 (25年度に助成歴あり)	制限なし
	嘉麻市	平成27年4月～平成27年11月		18名
3	諫山校区 アンビシャス広場	諫山校区アンビシャス広場 夏の特別体験学習	アンビシャス広場でやっている地域が連帯した子ども育成事業の中で、山をフィールドとした子どもたちに、今年度は「玄海の家」での海をフィールドとした1泊2日の特別体験学習を企画し、自分のことは自分でやること、他の人と協力し合って取り組むことの大切さなどを学ばせようとするもの。 これら地域ぐるみの子育てにより、子どもたち一人ひとりの自尊感情を高め、「豊かな心」と「広い視野」を育み、地域社会に貢献できる人材を育成して行こうとするもの。	6歳～15歳
	京都郡みやこ町	平成27年4月～平成27年12月		20名
4	一般社団法人 豊前青年会議所	豊前中学校競技大会	豊前市内の全中学校に呼び掛け、日頃の部活動の成果を発揮できる場を提供することにより、頑張っている子どもたちに、スポーツを通じて心身を鍛えるとともに礼儀作法やコミュニケーションの取り方などを身に付けさせようとするもの。これにより、大人たちも巻き込んだ、地域ぐるみでの青少年育成に取り組む行事として確立してきている。 また、前は準備や大会運営などに文化部からの参加も見て、より多くの子どもたちが関わる地域が一体となった大会となってきている。 (23年度、25年度に助成歴あり)	中学生
	豊前市	平成27年4月～平成27年7月		500名